サウンディング型市場調査 資料1 令 和 6 年 8 月

(仮称) さいたまスポーツシューレ推進施設の 方向性について

スポーツ文化局 スポーツ部 スポーツ政策室

資料構成

- 1. 施設概要·基本要件
- 2. 整備予定地の概要
- 3. 推進施設に必要な機能及び規模

■スポーツシューレとは

- グラウンドだけではなく、クラブハウスや研修施設、宿泊施設などを総合的に併せ持つ施設 (ハード)を指す。
- 同一敷地内にこれらの機能が集約・整備されているのが一般的。



スポーツシューレのイメージ図

【事例】ドイツ ヴェーダウ・スポーツシューレ (WEDAU SPORT SCHULE)

- 1978年開設(ドイツで最大・最古のスポーツシューレ)
- 広さ約200ha
- メインスタジアム、サッカー場、体育館、テニスコート、陸上グラウンド、 カヌー・レガッタコース、ビーチバレーボールコート、 宿泊施設、会議室、食堂などが集積
- 選手強化・育成や普及だけでなく、**指導者の育成、クラブ運営に関わる** 人材の研修なども行う
- ・ ノルトライン・ヴェストファーレン州のスポーツ連盟、ドイツサッカー協会の地域本部など各種スポーツ団体の本部が置かれ、"地域スポーツの拠点"としての機能を果たしている

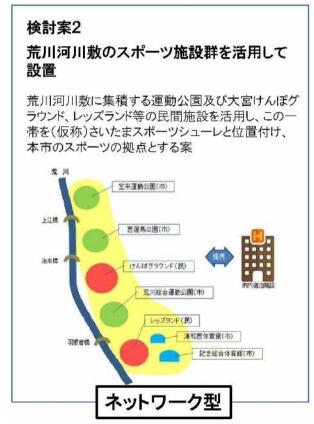




※令和元年(2019年)11月 市長視察

■「さいたまスポーツシューレ」の取組

- 市内に集積するスポーツ施設群を中心に、市内の宿泊・飲食・研修施設等のネットワーク 化によって、さいたま市全体を「ネットワーク型スポーツシューレ」とすることで、スポーツを 「する場」、「学ぶ場」を確保。
- 併せて、企業・大学・団体等が持つ最新の知見や技術を活用した実証実験など、**新たな** スポーツ産業の成長の場とすることを目指している。



出所:平成29年度第10回(第278回)都市経営戦略会議資料



- スポーツシューレ推進施設の理念及び目的
- 「さいたまスポーツシューレ」の取組の**中核を担う施設**として、**「さいたまスポーツシューレ推進施設」**の整備を検討。

スポーツのまち さいたまの実現

未来につなぐさいたまスポーツ文化の発展と継承

さいたまスポーツシューレ推進施設

- 市民が生涯にわたってスポーツを楽しむことを支え、トップアスリートを支えるための知の集積
 - あらゆるスポーツの発展を支え、スポーツによる国内外の対流・交流を加速

スポーツ人材の育成

- スポーツをすることが、 生涯にわたりその人の 人格的資産になるような指導ができる指導 者人材のメソッド開発・育成拠点
- トップアスリートの育成 メソッド開発拠点

持続可能な スポーツ環境の整備

- 子どもから高齢者まで 市民が生涯にわたりスポーツを楽しむための スポーツ科学・ヘルス ケアの情報集積・体 験拠点
- 女性アスリートを支える拠点

スポーツビジネス・スポーツ 産業の創出・活性化

- 本市の新たなスポーツ 文化の展開を促すよ うなスポーツビジネスの 発展を促す研究開発 拠点
- 国内外のスポーツチーム・団体の交流拠点

■ スポーツシューレ推進施設の提供機能(基本的な方向性)

スポーツ人 材の育成

■ 人材育成機能

- ▶ スポーツを楽しみ、スポーツを通じた人間力向 上をめざす地域指導者育成プログラムの開発 と実施
- ▶ 市民、選手、指導者の各層に対する育成メ ソッドの開発と展開
- プロスポーツチームのノウハウや科学的知見の 導入

■ 練習場・トレーニング機能

- > 選手や指導者の練習
- さまざまなスポーツ競技を体験できる機会の 提供
- → 子どもの体力づくりから高齢者の介護予防 まで多彩なプログラムの提供

持続可能なスポーツ環境の整備

■ 情報集積機能

- ▶ 「みる」「する」ためのスポーツ情報の収集
- ➤ スポーツ大会の開催に必要な施設や関連情報を用いたコンシェルジュ
- ▶ スポーツを楽しみ、学べるライブラリーの提供

■ 相談·支援機能

- ▶ 生涯にわたってスポーツを続けるためのスポーツ医学、スポーツ栄養学等の専門家による相談・助言
- ▶ 各種目のチーム、リーグづくりの支援
- 児童・生徒に対する学業とスポーツの両立 サポート

スポーツビ ジネス・ス ポーツ産業 の創出・活 性化

■ 研究・実証機能 (スポーツテックラボ)

- ▶ 産学官によるスポーツテック等の研究・開発
- ▶ 最新のデバイスやICTツール等を活用した運動パフォーマンスの実証フィールド
- スポーツビジネスのインキュベーション・コラボレーションの拠点

■ 交流·宿泊機能

- ▶ 海外・国内チームの合宿・キャンプ誘致の促進
- ▶ 大型スポーツイベント時等の宿泊客の受入
- 食からの健康を支え、スポーツを楽しむ市民 やアスリートが交流できるカフェやダイニングス ペース

2. 整備予定地の概要

埼玉県立衛生研究所跡地

所在地	埼玉県さいたま市桜区大字上大久保519-16、639_9	
敷地面積	13,326.20m ²	
現況利用状況	未利用	
接道	南西:幅員 12.91~12.95m 【市道A-577号線】 東 :幅員 3.61~ 3.64m 【市道A-596号線】	
用途地域 容積率/建蔽率	第一種住居地域 200%/60%	
その他地域地区	高度地区:15m 防火 準防火地域:なし 地区計画:なし 景観誘導区域(市街化区域)	
その他	埋蔵文化財包蔵地域外 土壌汚染対策法による指定は解除済 さいたま市景観条例・埼玉県建築物バリアフリー条例等	
液状化の可能性	液状化の可能性が高いとされている。地盤調査実施予定。	
土地所有	埼玉県(市が用地取得予定)	
交通アクセス	 JR京浜東北線北浦和駅より西武バスにて約10分 「大久保団地東」下車徒歩1分 JR埼京線与野本町駅から車で7分(徒歩30分) JR埼京線南与野駅から車で8分(徒歩32分) 	

【立地状況(広域)】





2. 整備予定地の概要

- 対象地の北側・西側については、フェンスで囲われており、通行できない状況である。
- 南西の【市道A-577号線】から撮影した写真は①~③であり、東の【市道A-596号線】から 撮影した写真は④~⑤である。













出所: Googleマップ

推進施設に必要な機能及び規模

施設の目的と屋内外の具体的な機能との関係

施設の目的 人材育成機能 スポーツ人材 の育成 練習場: トレーニング機能

持続可能な スポーツ環境 の整備

情報集積機能

相談支援機能

スポーツビジネ ス・スポーツ産 業の創出・活 性化

研究·実証機能

交流・宿泊機能

主な事業展開(案)

- ✓ 指導者に対する指導メルッドの開発と研修 (座学+実技)
- ✓ アスリートのフィジカルデータの計測・収集
- ✓ 市民のフィジカルデータの計測・収集
- ✓ 市民に対するスポーツプログラムの提供 (アスリートによる地域環元事業含む)
- ✓ 市民に対する最新技術のスポーツ体験
- ✓ 市民/アスリートに対する情報提供・相談 対応 (機会や場所等の情報等)
- ✓ 収集したフィジカルデータの分析
- ✓ 市民/アスリートに対するスキル・コンディ ショニング等の専門アドバイス
- ✓ 蓄積したデータのビジネス活用・製品開発
- ✓ アスリートのフィジカルデータの計測・収集
- ✓ 市民に対する食事等の健康管理に係る体 験機会の提供
- ✓ 市民とアスリートの交流イベント
- ✓ 宿泊を伴う研修やスポーツ合宿

※橙色字は、市民向けの機能

事業展開を実現するための機能(案)

多目的研修室

屋内トレーニング施設

データルーム

多目的グラウンド

- ※ 指導者育成の実技
- ※ データの収集機能を 兼ね備える。
- ※ 今後の需要予測に より、フットサルコート やテニスコートなどへ の転用可能性あり

サロン・情報スペース

相談室

データルーム(再掲)

スポーツテックラボ

多目的グラウンド

宿泊室

サロン・情報スペース(再掲) カフェ(飲食スペース)

アスリート等の寄宿舎



:屋内施設

:屋外施設

8

3. 推進施設に必要な機能及び規模

屋内施設の利用シーン及び面積(想定)

機能	概要・想定利用シーン	想定規模
多目的研修室	・ 座学の研修、実技の研修・ 市民向け体験プログラム	400m ² 程度 (間仕切りにより分割可能とする)
屋内トレーニング施設	 運動能力の測定(トレーニング機器を設置し、データを取得) 利用者のトレーニング	1,000m²程度
データルーム	・ 本施設で収集したデータの保管(サーバー等の設置)	
サロン・情報スペース	• スポーツの試合、メンバー募集、イベント開催、最新道具等に関する情報発信	
相談室	• スポーツ等に関する個別相談	
スポーツテックラボ	データの分析(研究の場)スポーツ関連企業等へのラボの貸出(実証の場)	300㎡程度
カフェ(飲食スペース)	・ 栄養面等に関する研修や指導の実施・ 市民や利用者、アスリートの交流の場・ アスリートのトレーニングや食事等の健康管理の体験	
宿泊室·浴室	宿泊を伴う研修やスポーツ合宿	
シャワールーム	※ ロッカールーム、更衣室を含む	 300㎡程度
受付·事務所	本施設の利用受付スポーツをする場所、スポーツチームの組成等に関する相談窓口	300111/1主/支
小計(延床面積)		2,000㎡程度

※ 上記のほか、廊下、ロビー、トイレ、機械室等の共用部で1,000㎡程度

アスリート等の寄宿舎	 競技力の高いアスリートのデータを恒常的に収集・分析できる環境を整備し、分析結果を市民等からのスポーツ相談に還元 市民とアスリートが交流できる機会(イベント等) 	別途検討
------------	--	------

3. 推進施設に必要な機能及び規模

平面配置 (想定)

